

愛知東邦大学 シラバス

開講年度(Year)	2023年度	開講期(Semester)	後期
授業科目名(Course name)	専門演習IV		
担当者(Instructors)	木野村 嘉則	配当年次(Dividend year)	4
単位数(Credits)	2	必修・選択(Required / selection)	必修

■授業の目的と概要(Course purpose/outline)

専門演習Ⅰ、Ⅱ、Ⅲに引き続き、卒業論文・ゼミ論文の作成に取り組む。各自のベースで取り組むこととなるため、論文の執筆自体は授業外で行うものとする。授業では経過報告を行うとともに、論文作成に必要となる技能習得を目指す。

■授業形態・授業の方法(Class form)

授業形態(Class form)	演習
授業の方法(Class method)	演習形式(含ディスカッション、プレゼンテーション)にて行う

■各回のテーマとその内容(Each theme and its contents)

回数(Num)	テーマ(Theme)	内容(Contents)	メディア区分(Media)
第1回	オリエンテーション	本演習を受講するまでのルールを確認する。	<input type="checkbox"/>
第2回	進捗状況の報告会(1)	夏休みでの進捗状況を報告する。	<input type="checkbox"/>
第3回	進捗状況の報告会(2)	夏休みでの進捗状況を報告する。	<input type="checkbox"/>
第4回	論文の構想の練り方	論文の構想の練り方について担当者のプレゼンの後ディスカッションする。	<input type="checkbox"/>
第5回	結論の書き方	結論の書き方について担当者のプレゼンの後ディスカッションする。	<input type="checkbox"/>
第6回	執筆作業の確認	効率の良い執筆作業について担当者のプレゼンの後ディスカッションする。	<input type="checkbox"/>
第7回	結果および図表の報告	ゼミ論および卒業研究で用いる図表を基に研究結果について報告する。	<input type="checkbox"/>
第8回	序論及び文献レビューの報告(1)	先行研究のレビューを含めた研究の序論について報告する。	<input type="checkbox"/>
第9回	序論及び文献レビューの報告(2)	先行研究のレビューを含めた研究の序論について報告する。	<input type="checkbox"/>
第10回	結論の報告	結論を報告し、研究全体のまとめを行う。	<input type="checkbox"/>
第11回	論文要旨の書き方	論文要旨の書き方について担当者のプレゼンの後ディスカッションする。	<input type="checkbox"/>
第12回	卒業論文の提出	卒業論文を提出する。	<input type="checkbox"/>
第13回	卒業論文要旨(抄録)の提出、論文の修正	(1) 卒業論文の要旨(抄録)を提出する。(2) 添削を参考に、卒業論文を加筆・修正する。	<input type="checkbox"/>
第14回	ゼミ内卒業論文発表会	卒業論文発表の資料をパワーポイントで作成し、ゼミ内で発表する。	<input type="checkbox"/>
第15回	学部行事 ゼミナール大会への参加	ゼミナール大会に参加し、研究成果を報告する。	<input type="checkbox"/>

■授業時間外学習(予習・復習)の内容(Preparation/review details)

指定された回までにゼミ内での発表にふさわしい分量と内容のレポートの作成を進めることができるようにテキストや授業で用いる資料を予習してくる(2時間程度)。授業時間外でも研究室を訪問する等して、適宜指導を受けながらレポートの作成を進めていく(2時間程度)。

■課題とフィードバックの方法(Assignments/feedback)

毎回の授業にて、作成してきたレポートやレポート内容のプレゼンテーションに関して解説することでフィードバックを行う。

■授業の到達目標と評価基準(Course goals)

区分(Division)	DP区分(DP division)	内容(DP contents)
--------------	-------------------	-----------------

思考力・判断力・表現力	◆ 2019人間健康DP2	各回の発表で明確になる課題に対して真摯に取り組みつつ、ゼミ論および卒業研究論文を完成させる。先行研究を基にし、論理的に展開した考察を基に問題設定および結論を得て論文として表現する
-------------	---------------	---

■成績評価(Evaluation method)

筆記試験(Written exam)	実技試験(Practical exam)	レポート試験(Report exam)	授業内試験 (in-class exam)	その他(Other)
			100%	

授業内試験等(具体的な内容)(Specific contents)

各回の授業でのディスカッションに必要となる資料およびゼミ論文の作成

■テキスト(Textbooks)

No. (No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	酒井聰樹『これから研究を始める高校生と指導教員のために』共立出版	978-4-320-00591-4
2	小林 雄一郎 著、濱田 彰 著、水本 篤 著『Rによる教育データ分析入門』オーム社	978-4-274-22591-8
3		
4		
5		

■参考図書(references books)

No. (No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	田中喜代次・西嶋尚彦監訳『身体活動科学における研究方法』ナップ	4931411398
2	出村慎一『健康・スポーツ科学のための Rによる統計解析入門』杏林書院	978-4-7644-1142-5
3		
4		
5		